



須江小だより

No.8

令和6年11月1日発行

遊楽館のステージいっぱい

校長 佐々木 淳

今年も、体育館の新築工事のため、遊楽館のホールをお借りして学習発表会を実施いたしました。保護者の皆様には、発表会当日の送り迎えなどにご協力いただき、感謝いたします。

子どもたちは、学校からバスで移動しながら練習を重ねてきました。そのため、遊楽館での練習は数えるほど。でも、子どもたちと先生方は心をつなげて練習に取り組んでできました。

児童公開では、全校児童がお互いに観客になって、一緒に踊り、手拍子をし、笑い、台詞を真似るなど、全校が一体感に包まれました。

保護者公開でのお子様の姿はいかがだったでしょうか。慣れないステージでの発表でしたが、大きな声でせりふを言う不安や、ステージで演奏する緊張を乗り越えて、子どもたちは堂々と胸を張って発表していました。1年生は忍者が大活躍、2年生はきれっきれのダンス、3年生は感謝の気持ちとパワー、4年生は堂々とした学びの発表、5年生は会場を巻き込む演技、そして6年生は伝統の獅子舞と素敵な歌声。どの学年もすばらしい発表でした。6年生の係の活動では、須江小の最上級生として立派な姿が見られました。

須江小が一体となった充実の学習発表会となりました。

ご来場の皆様には、温かい拍手を送っていただき、ありがとうございました。



伝統の須江獅子舞

石巻市指定無形民俗文化財

昭和3年、木造総2階建て14教室の須江小学校が完成しました。そのとき建設に当たった岩手県気仙郡の大工に須江の若者が指導を受けて始まったのが、須江獅子舞の始まりとされています。

もともとは地元の愛宕神社の春の例祭に奉納し、家内安全や無病息災を祈願したものです。演目は「道中ばやし」「権現」「虎舞」の三つからなり、勇壮な舞でありながらリズムカルなおはやしが特徴となっています。

およそ30年前からは、保存会の皆様に御指導いただきながら、6年生が代々引き継ぎ、総合的な学習の時間の活動として運動会や学習発表会など様々な場面で舞を披露してきました。

10月26日の土曜日には「かなんまつり」の遊楽館でのステージで練習の成果を発揮し、大きな拍手をいただきました。保存会の皆様、ご協力ありがとうございました。



学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

交通安全クイズ（答え） 「はじ」を歩く 「くるま」を見る 「おれい」をする